鐵槌の音

泉鏡花

青空文庫

天未に闇し。東方臥龍山の巓少しく白みて、旭日一帶の紅を潮せり。昧爽氣清く、神澄みて、街衢縱橫の地平線、皆眼眸の裡にあり。然して國主が掌中の民十萬、今はた何をなしつゝあるか。

これより旬日の前までは、前田加賀守治脩公、毎朝缺すことなく旭を禮拜なし給ふに、唯見る寂寞たる墓の下に、金城の蒼生皆眠りて、彌望、極顧、活色なく、眼の下近き鍛冶屋にて、鐵槌一打の聲ありしのみ。

然るに家業出精の故を以て、これよりさき特に一個この鍛冶屋を賞し給ひしより、昧爽に於ける市街の現象日を追うて趣を變じ、今日此頃に到りては、鍛冶屋の丁々は謂ふも更なり、水汲上ぐる釣瓶の音、機を織る音、鐘の聲、神樂の響、騷然、雜然、業に聲ありて默するは無く、職に音ありて聞えざるは無きに到れり。剩へ野町、野田寺町、地黄煎口、或は鶴來往來より、野菜を擔荷ひて百姓の八百物市に赴く者、前後疾走相望みて、氣競の懸聲勇ましく、御物見下を通ること、絡繹として織るが如し。

治脩公これを御覽じ、思はず莞爾と、打笑み給ふ。時に炊烟數千流。爾時公は左右を顧み、

「見よ我が黽勉の民は他よりも命長し。」

明治三十年六月

青空文庫情報

底本：「鏡花全集　巻二十七」岩波書店
1942（昭和17）年10月20日第1刷発行
1988（昭和63）年11月2日第3刷発行
※表題は底本では、「鐵槌《てつつゐ》の音《おと》」となっています。
※表題の下にあった年代の注を、最後に移しました。
入力：門田裕志
校正：米田進
2002年4月24日作成
2016年2月2日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

鐵槌の音

泉鏡花

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/